

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用・退職の状況(期間は、令和3年4月2日から令和4年4月1日まで)

(単位:人)

| 職 種 | R3.4.1現在 | 期間内の退職者 | 期間内の採用者 | R4.4.1現在 |
|-------|----------|---------|---------|----------|
| 医師職 | 104 | 28 | 29 | 105 |
| 看護職 | 487 | 25 | 24 | 486 |
| 医療技術職 | 140 | 3 | 7 | 144 |
| 一般事務 | 22 | 0 | 1 | 23 |
| 技能労務職 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 753 | 56 | 61 | 758 |

※医師数には、非常勤の研修医は含まない。

※構成団体から直接給与支給となる構成団体派遣職員は人数から除く。

(2) 事由別退職者数(令和3年4月2日から令和4年4月1日まで)

(単位:人)

| 定年退職 | 普通退職 | 免職 | 失職 | 合計 |
|------|------|----|----|----|
| 9 | 48 | | | 86 |

(3) 令和3年度に実施した職員採用試験の状況

(単位:人)

| 職 種 | 申込者数 | 受験者数(a) | 合格者数(b) | 競争率(a/b) |
|-------|------|---------|---------|----------|
| 看護職 | 40 | 39 | 27 | 1.4倍 |
| 医療技術職 | 25 | 25 | 9 | 2.8倍 |
| 一般事務 | 25 | 17 | 1 | 17倍 |

(4) 年齢別職員構成の状況(令和4年4月1日現在)

(単位:人)

| 区分 | 20~23 歳 | 24~27 歳 | 28~31 歳 | 32~35 歳 | 36~39 歳 | 40~43 歳 | 44~47 歳 | 48~51 歳 | 52~55 歳 | 56~59 歳 | 60~67 歳 | 計 |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 医師職 | 0 | 8 | 19 | 11 | 5 | 9 | 8 | 14 | 12 | 8 | 7 | 101 |
| 医療技術職 | 11 | 30 | 26 | 16 | 14 | 15 | 10 | 4 | 9 | 5 | 2 | 142 |
| 看護職 | 53 | 72 | 56 | 53 | 50 | 52 | 52 | 23 | 38 | 33 | 9 | 491 |
| 行政職 | 0 | 8 | 6 | 3 | 4 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 24 |

※一般職の職員で派遣職員を除く職員の状況

2 職員の給与の状況

(1) 総括

イ 人件費の状況(収益的収支決算)

| 区分 | 支出額 A | 人件費 B | 給与費比率(B/A) |
|-------|---------------|--------------|------------|
| 令和3年度 | 16,703,865 千円 | 8,321,941 千円 | 49.8% |

※人件費には、特別職に支給される報酬を含む。

ロ 職員給与の状況(収益的収支予算)

| 区分 | 職員数 A | 給与費 | | | | 1人当たりの給与 費 (B/A) |
|-------|-------|--------------|--------------|------------|--------------|---------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | |
| 令和3年度 | 786人 | 2,956,879 千円 | 1,781,822 千円 | 850,583 千円 | 5,589,284 千円 | 7,111 千円 |

※当初予算に計上された額。職員手当には、退職手当を含まない。

(2) 職員の平均給与額、初任給などの状況

イ 職員の平均年齢及び平均給料月額状況(令和4年4月1日現在)

(単位:円)

| 区分 | 置賜広域病院企業団 | | 国 | |
|-------|-----------|-------|---------|-------|
| | 平均給料月額 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均年齢 |
| 医師職 | 491,529 | 43.5歳 | 507,742 | 52.8歳 |
| 医療技術職 | 278,404 | 36.3歳 | 312,940 | 46.5歳 |
| 看護職 | 287,893 | 38.3歳 | 319,817 | 47.7歳 |
| 行政職 | 259,054 | 32.1歳 | 323,711 | 42.7歳 |

※ 構成団体からの派遣職員を含まない。

ロ 職員の初任給の状況(令和4年4月1日現在)

(単位:円)

| 区分 | | 置賜広域病院企業団 | 国 |
|-------|------|-----------|---------|
| 医師職 | 大学6卒 | 249,800 | 249,800 |
| | 大学卒 | 191,500 | 188,400 |
| 医療技術職 | 短大卒 | 180,000 | 177,400 |
| | 大学卒 | 213,200 | 212,600 |
| 看護職 | 短大3卒 | 203,600 | 200,700 |
| | 大学卒 | 185,100 | 182,200 |

ハ 級別職員数の状況(令和4年4月1日現在)

| 区分 | | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 7級 | 8級 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 医師職 | 職員数(人) | 37 | 12 | 24 | 26 | 1 | | | |
| | 構成比 | 37.0% | 12.0% | 24.0% | 26.0% | 1.0% | | | |
| 医療技術職 | 職員数(人) | 1 | 50 | 45 | 30 | 13 | 6 | 1 | |
| | 構成比 | 0.7% | 34.2% | 30.8% | 20.5% | 8.9% | 4.1% | 0.7% | |
| 看護職 | 職員数(人) | 0 | 145 | 133 | 135 | 80 | 5 | 1 | |
| | 構成比 | 0.0% | 29.1% | 26.7% | 27.1% | 16.0% | 1.0% | 0.2% | |
| 行政職 | 職員数(人) | 8 | 6 | 6 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 構成比 | 34.8% | 26.1% | 26.1% | 8.7% | 4.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

※ 構成団体からの派遣職員を除く。

(3) 職員手当の状況

イ 期末手当、勤勉手当(令和4年4月1日時点 支給状況)

| 区分 | 置賜広域病院企業団 | | 国 | |
|------------|-------------------|--------|-------------------|-------|
| | 期末手当 | 勤勉手当 | 期末手当 | 勤勉手当 |
| 支給割合 | 2.4月分 | 1.85月分 | 2.4月分 | 1.9月分 |
| 加算措置の状況 | 職制上の段階、職務の等級による加算 | | 職制上の段階、職務の等級による加算 | |
| 1人当たり平均支給額 | 1,476,800 | | | |

ロ 退職手当(令和4年4月1日現在)

| 区分 | 置賜広域病院企業団 | | 国 | |
|------------|--------------------|-------------|--------------------|-------------|
| | 自己都合 | 勸奨・定年 | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | 19.6695月分 | 24.586875月分 |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | 28.0395月分 | 33.27075月分 |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 | 39.7575月分 | 47.709月分 |
| 最高限度額 | 44.7795月分 | 47.709月分 | 47.709月分 | 47.709月分 |
| その他加算措置 | 定年前早期退職特例措置(3~15%) | | 定年前早期退職特例措置(2~45%) | |
| 1人当たり平均支給額 | 5,998 千円 | | — | |

※1人当たり平均支給額は、令和3年度に退職した職員へ支給された額の平均額

ハ 特殊勤務手当

(イ) 概要

| 区分 | 全職種 |
|---------------------------|------------|
| 支給実績(令和3年度決算) | 338,233 千円 |
| 支給職員1人当たりの平均支給額(令和3年4月実績) | 550 百円 |
| 職員全体に占める支給職員の割合(令和3年4月実績) | 55.0% |
| 手当の種類(手当数) | 9種類 |

(ロ) 手当の内容

| 手当の名称 | 主な支給対象業務等 | 支給単価 |
|------------|--|-------------------------|
| 医師研究手当 | 医師、歯科医師 | 月額 150,000円 |
| サテライト勤務医手当 | サテライト医療機関に勤務する医師、歯科医師 総合病院に勤務する医師、歯科医師がサテライト医療機関で従事 | 月額 50,000円 日額 2,300円 |
| 防疫等作業手当 | 感染症患者の看護又は物件の処理に従事 | 日額 290円 |
| 放射線取扱手当 | 放射線の照射又は撮影作業に従事(当該作業従事により調整額を受ける者は除く。) | 日額 230円 |
| 緊急呼出手当 | 緊急の呼び出しにより手術、救急業務等に従事 | 1回 1,240円 |
| 夜間看護等手当 | 夜間の看護等の業務に従事 | 1回 2,150円 ～3,550円 |
| 死体処置手当 | 死体の処置作業に従事 | 1件 500円 |
| 分娩介助手当 | 医師が正規の勤務時間以外の時間に分娩介助の業務に従事 | 1件 10,000円 |
| | 上記のうち特にハイリスクと認められるもの | 1件 20,000円 |
| | 産科病棟勤務の助産師が分娩介助の業務に従事 | 1件 500円 |
| 診療応援手当 | 病院外に派遣され受託業務に従事した場合 | 1回20,000円～ 30,000円 |

二 時間外勤務手当

| 区分 | 令和3年度 |
|---------------|------------|
| 支給実績(令和3年度決算) | 631,021 千円 |
| 職員1人当たりの平均支給額 | 626,634 円 |

ホ その他の手当

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国との比較 | 国と異なる内容 |
|------|--|--------|--------------|
| 扶養手当 | 子は10,000円、配偶者及び配偶者以外は6,500円 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子は5,000円加算 | 同様 | |
| 住居手当 | 家賃を払っている職員 28,000円以内 | 同様 | |
| 通勤手当 | 交通機関を利用して通勤する職員 55,000円以内 自動車などを使用して通勤する職員(使用距離に応じて支給) 31,300円以内 | 一部異なる。 | 使用距離区分及び支給金額 |

3 職員の勤務時間その他の勤務条件

- (1) 勤務時間 ①1週間当たりの勤務時間38.75時間
②1日当たりの勤務時間7.75時間(8時30分から17時15分まで)
- (2) 休憩時間 12時から13時まで
- (3) 週休日 土曜日及び日曜日
- (4) 休日 ①国民の祝日に関する法律に規定する休日
②12月29日から1月3日までの日(①の休日を除く)
- (5) 休暇 年次有給休暇、病気休暇(有給)、特別休暇(有給)、介護休暇(無給)、組合休暇(無給)
※ 上記の(1)から(4)までは非交代制勤務の場合。

(6) 主な特別休暇

| 区分(通称) | 要件及び日数 |
|----------|--|
| 結婚休暇 | 結婚する場合:7日の範囲内 |
| 産前、産後休暇 | 出産する場合:産前8週、産後8週(産前休暇が8週に満たない場合10週まで可) |
| 妊産婦の健康検査 | 母子健康法に定められた妊娠週ごとの検査を受ける場合:それぞれ1日以内 |
| 忌引き休暇 | 親族の葬儀・服喪等の場合:続柄に応じ1日から10日まで |
| 夏季休暇 | 7月から9月までの期間において、原則として連続する6日以内 |

4 休業の状況

| 区分 | 承認基準 | 取得可能期間 |
|---------|---|---|
| 育児休業 | 3歳に満たない子を養育する場合(無給) | |
| 部分休業 | 小学校就学前の子を養育する場合(無給) | 養育する子が小学校就学の始期に達するまでの期間で、1日の勤務時間の始め又は終わりに2時間以内の時間 |
| 育児短時間勤務 | 小学校就学前の子を養育する場合(週19時間35分、週24時間35分、週3日、週2日半のうち選択した勤務時間に応じ有給) | 養育する子が小学校就学の始期に達するまでの期間で、1月以上、1年以下 |

5 職員の分限及び懲戒処分状況

(1) 分限処分者数(令和3年度)

| 区分 | 件数 | 事由 |
|----|----|-----------|
| 免職 | 0 | |
| 休職 | 3 | 病気による長期療養 |
| 降任 | 0 | |
| 降給 | 0 | |

(2) 懲戒処分者数(令和3年度)

| 区分 | 件数 | 事由 |
|----|----|----|
| 免職 | 0 | |
| 停職 | 0 | |
| 減給 | 0 | |
| 戒告 | 0 | |

6 職員のサービスの状況

(1) 職務専念義務の免除

職員には、地方公務員法第35条により、職務に専念する義務が課されている。

「法律又は条例に特別の定めがある場合」として、職務専念義務が免除される場合には、次のような場合がある。

- イ 研修を受ける場合
- ロ 厚生に関する計画の実施に参加する場合
- ハ 置賜広域病院企業団の特別職としての職を兼ね、その職に関する事務を行う場合
- ニ 職務に関連ある国家公務員又は他の地方公共団体の公務員としての職を兼ね、その職に関する事務を行う場合
- ホ 企業団行政の運営上、その地位を兼ねることが特に必要と認められる団体の役職員の地位を兼ね、その事務を行う場合
- ヘ 職務遂行上必要な教養を目的とする講習会、講演会、その他これらに類するものであって、国、地方公共団体、学校等が行うものに参加する場合
- ト 国又は地方公共団体の機関、学校その他の団体から委嘱を受けて、講演又は講義を行う場合
- チ 職務遂行上必要な国、地方公共団体の実施する競争試験、その他の試験を受ける場合
- リ 大学の通信教育の面接指導を受ける場合

(2) 営利企業従事の許可

職員は、地方公務員法第38条により、営利企業の役員等の就任及び報酬を得て事業に従事することについては許可を要し、原則として禁止されている。許可の基準は、次の全てを満たす場合である。

- イ 職務の遂行に支障を及ぼすおそれがないこと。
- ロ 職員が勤務する機関又は職員が占める職と、兼ねようとする地位又は従事しようとする事業若しくは事務との間に特別な利害関係がなく、かつその発生のおそれがないこと。
- ハ 国又は他の地方公共団体の職員の職を兼ねる場合において勤務時間の重複の度が頻繁にわたらないこと。

7 研修の状況

| 区 分 | 研 修 内 容 |
|----------|--|
| 新規採用職員研修 | ・病院企業団の概要 ・公務員としての基礎知識 ・公務員倫理 ・情報セキュリティ ・医療安全、感染対策 |
| 階層別研修 | ・非役付き職員研修 ・主任級職員研修 |
| その他 | ・褥瘡研修 ・行動制限最小化研修 ・糖尿病研修 ・緩和ケア研修 ・救急医療講習 ・CPC(臨床病理症例検討会) ・メンタルヘルス研修 ・健康管理研修 接遇研修 など |

8 福祉及び利益の保護の状況

(1) 職員の福利厚生事業の概要

職員の健康増進と職務能力向上に資することを目的に福利厚生推進委員会を設置し、次のような事業を行っている。

- ・ 助成金交付事業
- ・ 院内厚生施設利用助成事業
- ・ 退職者に感謝する集い助成事業
- ・ サークル活動助成事業

(2) 職員の健康診断の状況(令和3年度)

| 区分 | 受診者数 | 受診機関 | 健診内容 |
|----------------|------|----------|--|
| 定期健康診断 | 858人 | 南陽健診センター | ・問診 ・身長、体重、視力、聴力 ・心電図 ・尿検査 ・血圧 ・血液 ・胸部X線 ・各種がん検診(年齢制限あり) |
| 深夜業従事者 健康診断 | — | 独自 | ・問診 ・血圧 ・尿検査 |

(3) 公務災害の発生状況(令和3年度)

| 区 分 | 認定件数(件) |
|---------|---------|
| 公務上の災害 | 12 |
| 通勤による災害 | 1 |

7 研修の状況

| 区 分 | 研 修 内 容 |
|----------|--|
| 新規採用職員研修 | ・病院企業団の概要 ・公務員としての基礎知識 ・公務員倫理 ・情報セキュリティ ・医療安全、感染対策 |
| 階層別研修 | ・非役付き職員研修 ・主任級職員研修 |
| その他 | ・褥瘡研修 ・行動制限最小化研修 ・糖尿病研修 ・緩和ケア研修 ・救急医療講習 ・CPC(臨床病理症例検討会) ・メンタルヘルス研修 ・健康管理研修 接遇研修 など |

8 福祉及び利益の保護の状況

(1) 職員の福利厚生事業の概要

職員の健康増進と職務能力向上に資することを目的に福利厚生推進委員会を設置し、次のような事業を行っている。

- ・文化教養・芸術スポーツ合同事業
- ・健康増進・レクリエーション合同事業
- ・院内厚生施設利用助成事業
- ・退職者に感謝する集い
- ・サークル活動助成事業
- ・採用・退職辞令交付式助成事業

(2) 職員の健康診断の状況(令和2年度)

| 区分 | 受診者数 | 受診機関 | 健診内容 |
|------------|------|----------|--|
| 定期健康診断 | 860人 | 南陽健診センター | ・問診 ・身長、体重、視力、聴力 ・心電図 ・尿検査 ・血圧 ・血液 ・胸部X線 ・各種がん検診(年齢制限あり) |
| 深夜業従事者健康診断 | — | 独自 | ・問診 ・血圧 ・尿検査 |

(3) 公務災害の発生状況(令和2年度)

| 区 分 | 認定件数(件) |
|---------|---------|
| 公務上の災害 | 24 |
| 通勤による災害 | 1 |